

ぼうさい

防災のホントのところを知るイベント



たちかわ

ひつよう

加齢・障害に必要なこと!

にちじ ねん がつ か にち
日時：2007年10月7日（日）10:00～15:00

かいじょう たちかわしそごうふくし ふじみちょうにちようめ
会場：立川市総合福祉センター（富士見町二丁目）

さんかひ えん
参加費：100円（全額をゆめ風基金を通して、中越沖地震の被災地の障がい者支援に使わせて頂きます。）

じしん かじ さいがい お
地震、火事などの災害はいつ、どこで起こるのかわかりません。

あか としよ けんこう ひと しょう ひと
赤ちゃんからお年寄り、健康な人から障がいのある人まで

み～んな、「その時」を迎える可能性があります。

あなたは、そして、あなたの近くに住んでいるあの人は、もしもの時

あんぜん ひなん せいかつ
安全に避難・生活できるでしょうか？

イベントを通じて、みんなで一緒に考えていきましょう！

かぞく きんじょ さそ きがる さんか
ご家族・ご近所お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

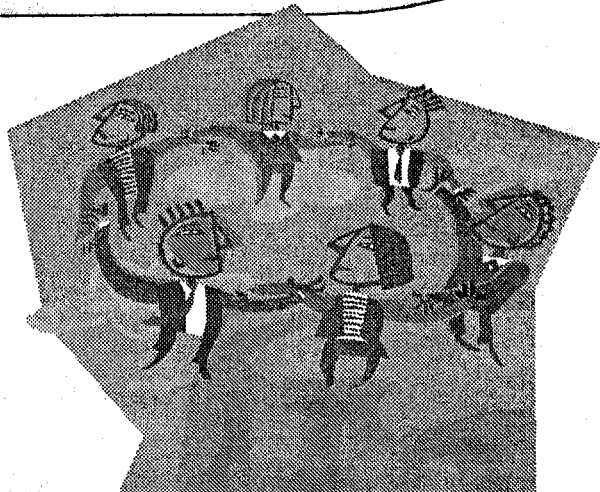
しゅさい と あ
主催・お問い合わせ：

ほうじん じりつせいかつ たちかわ
NPO法人 自立生活センター・立川

たちかわしはさきちょう かい
立川市柴崎町2-10-16 オオノビル2F

Tel 042-526-1418 Fax 042-523-5545

たんとう ひろせ きしの
担当：廣瀬・岸野



きょうりやく たちかわしみんせいかつぼうさいか たちかわしやうぼうし
協力：立川市市民生活部防災課・立川消防署

こうえん ちようせいちゆう たちかわししゃかいふくしきょうぎかい
後援（調整中）：立川市社会福祉協議会

11:00～「地域で取り組む防災まちづくり」

講師：立川市市民生活部防災課長 北川 亘氏

災害が起こったその時から、私たちのまちはどうなってしまうのでしょうか？いつ来るかわからないその日のために、必要となるものは？いま、立川で進めている防災対策についてもお話をいただきます。

13:30～「私の災害体験から」

講師：メインストリーム協会副代表 玉木 幸則氏

震災を経験した障がい者という立場から、災害発生時や被災地での生活についてお話をいただきます。

●玉木氏プロフィール

1968年兵庫県姫路市出身。脳性まひの障がい当事者。1992年に自立生活センター・メインストリーム協会（兵庫県西宮市）事務局次長に就任後、障がい者の自立生活運動に深く関わる。阪神・淡路大震災の被災者であり、2年間にわたり仮設住宅での生活を送る。

*自立生活センターとは？

障がいのある人が、地域でのなかで楽しく、安心した生活を送れるよう様々な活動を行っている団体です。2007年現在、全国に約120箇所あります。

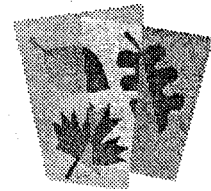
★起震車で地震を体験してみよう！

★かんたんな防災グッズ「ほのぼのあかり」をつくろう♪

★地域の防災にむけての活動の紹介

★障がいのある市民が考える、災害対策

★非常食試食コーナー（12:00～13:00） ほか



開催趣旨

立川市では、防災計画の策定や、各町で防災モデル地区推進事業を実施するなど、防災をテーマとした地域づくりが進められています。

そのなかでひとつの要点となっているのは、高齢者、障がい者、外国人、乳幼児などの「災害時要援護者」と呼ばれる人たちの災害時の対応のあり方です。しかし、彼らに必要な支援体制が準備できていれば、災害がおきた際も、自立した生活を営むことが可能とされているのです。

今回のイベントでは、自分と同じ地域で暮らしている様々な人が、どのようにしたら安心して避難や生活ができるかどうか考える場にしていきたいと思っています。

会場までの地図

JR立川駅より、徒歩20分。

JR西立川駅より徒歩10分。

立川駅北口(10)(11)からバスで「富士見町2丁目」

バス下車徒歩5分。

女性総合センターからくるりんバスで「総合福祉

センター前」バス下車。

お車でのご来場はご遠慮下さい。

